

友好合作都市・中国廈門市より

# ニイハオ! ~その3~

第13期 宜野湾市海外留学生 當間 菜月

## ホームステイ

竜岩で中国の一般家庭の生活や春節の過ごし方を初めて体験しました。中国では春節の時期になると仕事はほとんど休みになり、家族そろって年越しをします。春節の前日の過年（日本でいう大晦日）には、たくさんご馳走を作りますが、その中でも鶏肉は重要で、生きた鶏を買ってきて、自分たちで絞めて丸々1羽調理します。私も少しお手伝いさせてもらいましたがかなり衝撃的でした！夜になると、日本の紅白歌合戦のような定番の番組を見て年越しを待ちます。年越しの瞬間になると各家で一斉に爆竹をならしたり、火花を打ち上げたりして新年を祝います。日本のお正月と同じようにお年玉をあげる習慣もあります。

竜岩は福建省の中部に位置し、客家話という方言を話すため、年配の方とはコミュニケーションを取るのに少し苦労しましたが、皆さんとても優しく歓迎してくれて、本当にいい経験になりました。

## ごあいさつ

5月になり、季節はすっかり夏になりました。私はこの春休みの間に北京、福州、泉州へ出かけた。春節（中国の正月）の間は竜岩の友達の家でホームステイをさせてもらいました。

## 清明節（シーミー）

4月には清明節（シーミー）があり、福州の「琉球墓園」に墓参りに行ってきました。琉球墓園は、琉球王国時代に福州で亡くなった琉球人を祀ったお墓です。現在でもとても綺麗に整備されていて、沖繩に帰ってきたかのように感じさせる場所でした。



↑福州の琉球墓園にて墓参り

## 最後に

長いように感じた留學生生活も残すところ3ヶ月を切りました。初めの頃は慣れない事も多く不安ばかりでしたが、今はすっかり慣れてまだ帰りたくないと思うほどです。残り3ヶ月、中国語能力を高めるとともに、宜野湾市の皆さんに中国の様子をお届けできるようにたくさんの経験をしていきたいと思えます。引き続き応援よろしくお願います！



↑竜岩の家族の皆さんと (2段目右)



## 地域の気づきから地域の支援へ

2014年、虐待が疑われるとして全国の警察が児童相談所に通告した18歳未満の子どもは2万8923人と、前年より7320人(34%)増えたことが警察庁のまとめで分かりました。10年連続して過去最悪を更新し、統計を始めた2004年の30倍となりました。増加の背景について警察庁は「深刻な事件が相次いでいることから、地域の方々の認識が一層高まり通報が増えた」と分析しています。

全国だけでなく、本市においても地域からの通報・相談件数は多くあります。昨年度の子どもの関する相談件数は512件あり、その内虐待相談は226件でした。その他の相談としては、養護相談、非行相談、育成相談等がありました。

深刻化する児童虐待問題への対策として、これまで全国各地において児童虐待防止に関する講演会や啓発活動など、様々な取り組みが行われてきています。

しかし、こうした取り組みがされているものの、児童虐待の通報義務(※1)を知らない成人が37%いることが、国の調査より明らかになっています。通報により多くの子ども達が救われると共に、子育てに悩みを抱えている保護者自身を救うことにも繋がります。今年7月からは、児童相談所全国共通ダイヤル3桁化「189(いちはやく)」システム(※2)が運用され、素早く通報・相談することが可能となります。

地域で子どもの泣き声が気になる状況や、子育てで悩んでいる保護者はいらっしやいませんか。あなたの気づきが子ども達、保護者への支援に繋がります。

通報の内容が間違っていたとしても、罰せられることはありません。小さなことでも何か気づいた時には、ぜひ、ご連絡をお願いします。



※1 「虐待を受けている、または受けていると疑われる児童を発見した場合、児童相談所や福祉事務所等に通告しなければなりません」と、児童福祉法にて定められています。

※2 お住まいの地域の児童相談所へ繋がります。

### 【問合せ】

宜野湾市要保護児童対策協議会  
じのーんキッズ安心ネット  
児童家庭課(家庭児童相談室)  
☎893-4422(直通)